

特定行為区分	栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連		時間	36
特定行為名	(A) 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 (B) 脱水症状に対する輸液による補正			
学ぶべき事項	(共通) 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連の基礎知識	1. 循環動態に関する局所解剖		
		2. 循環動態に関する主要徴候		
		3. 脱水や低栄養状態に関する主要症候		
		4. 輸液療法の目的と種類		
		5. 病態に応じた輸液療法の適応と禁忌		
		6. 輸液時に必要な検査		
		7. 輸液療法の計画		
	(A) 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	1. 低栄養状態に関する局所解剖		
		2. 低栄養状態の原因と病態生理		
3. 低栄養状態に関するフィジカルアセスメント				
4. 低栄養状態に関する検査				
5. 高カロリー輸液の種類と臨床薬理				
6. 高カロリー輸液の適応と使用方法				
7. 高カロリー輸液の副作用と評価				
8. 高カロリー輸液の判断基準（ペーパーシミュレーションを含む）				
9. 低栄養状態の判断と高カロリー輸液のリスク（有害事象とその対策等）				
10. 高カロリー輸液に関する栄養学				
(B) 脱水症状に対する輸液による補正	1. 脱水症状に関する局所解剖			
	2. 脱水症状の原因と病態生理			
	3. 脱水症状に関するフィジカルアセスメント			
	4. 脱水症状に関する検査			
	5. 脱水症状に対する輸液による補正に必要な輸液の種類と臨床薬理			
	6. 脱水症状に対する輸液による補正の適応と使用方法			
	7. 脱水症状に対する輸液による補正の副作用			
	8. 脱水症状に対する輸液による補正の判断基準（ペーパーシミュレーションを含む）			
	9. 脱水症状の程度の判断と輸液による補正のリスク（有害事象とその対策等）			
研修概要	(共通) 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連の基礎知識	絶食状態や消化管の使用が困難である場合、低栄養状態の患者あるいは、脱水症状の患者に対し、症状や身体所見、検査所見から、高カロリー輸液や脱水に対する輸液による補正の必要性、目的、方法を理解し、かつ安全に薬剤投与量の調整を実践できる看護師を養成する。		
	(A) 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	医師の指示の下、手順書により、身体所見（食事摂取量、栄養状態等）及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整を行う。		
	(B) 脱水症状に対する輸液による補正	医師の指示の下、手順書により、身体所見（食事摂取量、皮膚の乾燥の程度、排尿回数、発熱の有無、口渇や倦怠感の程度等）及び検査結果（電解質等）等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、輸液による補正を行う。		
到達目標	1. 医師の指示の下、手順書により、身体所見（食事摂取量、栄養状態等）及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整ができるようになる。			
	2. 医師の指示の下、手順書により、身体所見（バイタルサイン、食事摂取量、皮膚の乾燥の程度、排尿回数、口渇や倦怠感の程度等）及び検査結果（電解質等）等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、輸液による脱水の補正が行えるようになる。			
	3. 手順書案を作成し、再評価、修正できる能力を養う。			
	4. 医師、歯科医師から手順書による指示を受け、実施の可否を判断するために必要な知識を養う。			
	5. 実施、報告の一連の流れが適切に行える。			
評価方法	講義：eラーニングの受講及び講義確認テスト			
	演習：ペーパーシミュレーションによる演習及び模擬講義			
	実習：各種実習の観察評価			
	試験：eラーニング上で修了試験を実施			
研修内訳	講義（17時間）	視聴時間45分＋講義確認テスト15分		
	演習（4時間）	視聴時間（イントロ）5分＋グループワーク45分＋視聴時間（解説）10分 ※演習はeラーニング教材を活用して指定研修機関で行う		
	実習（12時間）	実習は、指導者の指導の下、指定研修機関で行う		
	試験（3時間）	修了試験60分		

学ぶべき事項		講師	所属	研修方法	通番
(共通) 栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連の基礎知識	循環動態に関する局所解剖	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	1
	循環動態に関する主要症候	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	2
	脱水や低栄養に関する主要症候	坪井 謙 有嶋 拓郎	さいたま市民医療センター救急総合診療科 鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	3
	輸液療法の目的と種類	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	4
	病態に応じた輸液療法の適応と禁忌	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	5
	輸液時に必要な検査	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	6
	輸液療法の計画	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	7
	ペーパーベシエント (医療面接、身体所見、検査所見、画像所見)	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	演習	8
	模擬講義：循環動態に対する局所解剖、主要症候、脱水や低栄養に関する主要症候、輸液療法の目的と種類、輸液療法の適応と禁忌	指導者	指定研修機関	演習	9
	病態のアセスメント	指導者	指定研修機関	実習	10
		指導者	指定研修機関	実習	11
	輸液療法の基礎知識 修了試験				試験
(A) 持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整	低栄養状態に関する局所解剖、低栄養状態の原因と病態生理	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	13
	低栄養状態に関するフィジカルアセスメント、検査	坪井 謙 有嶋 拓郎	さいたま市民医療センター救急総合診療科 鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	14
	低栄養状態の判断と高カロリー輸液のリスク (有害事象とその対策等)	坪井 謙 有嶋 拓郎	さいたま市民医療センター救急総合診療科 鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	15
	高カロリー輸液の適応と使用方法、高カロリー輸液に関する栄養学	坪井 謙 有嶋 拓郎	さいたま市民医療センター救急総合診療科 鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	16
	高カロリー輸液の種類と臨床薬理、高カロリー輸液の副作用と評価	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	17
	高カロリー輸液の判断基準 (ペーパーシミュレーションを含む)	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	演習	18
	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 見学又は手伝い	指導者	指定研修機関	実習	19
	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 指導者の指導監督下で実施	指導者	指定研修機関	実習	20
		指導者	指定研修機関	実習	21
		指導者	指定研修機関	実習	22
		指導者	指定研修機関	実習	23
	持続点滴中の高カロリー輸液の投与量の調整 修了試験				試験

(B) 脱水症状に対する輸液による補正	脱水症状に関する局所解剖、脱水症状の原因と病態生理	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	25
	脱水症状に関するフィジカルアセスメント、検査	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	26
	脱水症状に対する輸液による補正に必要な輸液の種類と臨床薬理	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	27
	脱水症状に対する輸液による補正の適応と使用方法、副作用	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	28
	脱水症状の程度の判断と輸液による補正のリスク（有害事象とその対策等）	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	講義	29
	脱水症状に対する輸液による補正の判断基準（ペーパーシミュレーションを含む）	有嶋 拓郎	鹿児島大学病院救命救急センター 副センター長	演習	30
	脱水症状に対する輸液による補正 見学又は手伝い	指導者	指定研修機関	実習	31
	脱水症状に対する輸液による補正 指導者の指導監督下で実施	指導者	指定研修機関	実習	32
		指導者	指定研修機関	実習	33
		指導者	指定研修機関	実習	34
指導者		指定研修機関	実習	35	
脱水症状に対する輸液による補正 修了試験			試験	36	